

「 データ、資料等 」

資料I. 日本のIT投資の非効率性

日本は、全世界のIT投資の17.1%を占めている。米国は33.3%で日本の倍であるが、人口比を考えると1人当たりの投資額はほぼ等しい。これに対して、3位のドイツは6.4%で、日米に比べると人口を考えても少なく、日米が世界最高のIT投資を行っていることが分る。一方、IT活用度(IT Readiness)の世界比較がWorld Economic Forumによって行なわれているが、2003年2月に発表された「2002年世界IT報告」では20位となっており、投資額に比較して効果が上がっていない。

このような非効率性の一つの要因は、日本のIT技術者の能力不足だと考えられる。特に発注のための仕様書を書いたり、基本設計を行なうことのできるアーキテクトの不足が指摘されている。

IT 投資国際比較

1.アメリカ	33.6%
<b>2.日本</b>	<b>17.1%</b>
3.ドイツ	6.4%
4.英国	5.7%
5.フランス	5.0%
6.中国	2.8%
7.イタリア	2.7%
8.カナダ	2.5%
9.ブラジル	2.1%
10.オーストラリア	1.6%
参考	
12.ブラジル	1.3%
16.インド	0.8%

(2001年の  
全世界のICT投資額 24,151億ドル)

WITSA, IDC による Digital Planet

IT 活用度国際比較

1.フィンランド
2.アメリカ
3.シンガポール
4.スエーデン
5.アイスランド
6.カナダ
7.イギリス
8.デンマーク
9.台湾
10.ドイツ
11.オランダ
12.イスラエル
13.スイス
14.韓国
15.オーストラリア
16.オーストリア
17.ノルウェー
18.香港
19.フランス
<b>20.日本</b>
21.アイルランド
22.ベルギー
23.ニュージーランド
24.エストニア
25.スペイン

「2002年世界IT報告」2003年2月 WEF